

何のために「働く」のか B 姜 尚 中

他者からのアテンション

⑬ 社会の中での人間同士のつながりは、友だち関係や恋人関係、家族関係とは少し違います。

もちろん、社会の中でのつながりも「相互承認」の関係には違いありません。

しかし私は、この場合、「アテンション (ねぎらいのまなざしを向けること)」と表現するのが良いと思います。

清掃の仕事をしていた彼がもらった言葉は、まさにアテンションだったのではないのでしょうか。

⑭ ですから、私は「人はなぜ働かなければならないのか」という問いの答えは、「他者からのアテンション」そして「他者へのアテンション」だと思えます。

それが、働くことの意味の基本だと思えます。

やり甲斐や、夢の実現などは、この次の段階です。

⑮ そして、このアテンションという「承認のまなざし」は、家族ではなく、社会的な他者からもらう必要があるでしょう。

⑯ 自分自身に「私はなぜ働いているのか」と聞いてみます。すると、いろいろ考えたあとで、他者からのアテンションを求めているから、という答えになります。

お金は必要ですし、地位や名誉も欲しいですが、やはり、他者からのアテンションが欲しいのです。

それによって、社会の中にある自分を再確認できます。

自分はこれでいいのだという安心感をもつことができます。自信にもつながっているような気がします。

⑰ 人間というのは、「自分が自分として生きるために働く」のです。

「自分が社会の中で生きていていい」と思えるようになるためには、やはり働くしかないのです。

【Aのリライトからさらに……】

・横書き ・総ルビ ・改行を増やす ・表現を平易に (波線部) ・重要語句は残す

資料④ リライト例 B (初中級)

資料をもとに文章を書こう

年 組 氏名 _____

グラフや図などの資料を正確に読み取り、それをもとに文章をまとめよう。

1

「学校に通う意義」についての国際比較をしたグラフがある。グラフから読み取れることを「分析メモ」に書いて、それをもとに文章にまとめよう。

【グラフを読み取る際のポイント】

_____ (見るところ) を明確にしよう。例えば、次のように _____ を決めると、はっきりと情報が読み取れる。

- 1) 「日本が何番目か」
- 2) アジアと欧米を比べる。
- 3) 差が大きいところに着目する。

P133 Aさんの分析メモ

・「友達との友情をはぐくむ」と考える人 _____、日本では _____ %を超え他の国と比べて _____ 多い。一方フランスでは、16.3%と _____ 少ない。

・「職業的スキルを身につける」と考える人 _____、日本 _____ 5か国中 _____ 少ない。

・「一般的・基本的知識を身につける」と考える人 _____、欧米が _____、アジアの日本と韓国は4位と5位。

・「自由な時間を楽しむ」 _____、日本 _____ 5か国中 _____ 多い。

★「 _____ 」と考える人は、~~~~/「 _____ 」は、~~~~。

★【国】では _____ %と、多い。一方、【国】では _____ %と、少ない。

★【国】は【 】か国中で _____。

正確な

意義
分析

~際の

欧米
差

★

~と比べて

一方

圧倒的に

極めて

最も

いちばん

~中

上位/下位